

市民ワークショップ

令和元年11月9日(土)にあいあい第2回市民ワークショップを開催しました。

Program 1 主催者あいさつ



総合政策部次長

今回は新庁舎整備に対するアイデアを頂く内容です。皆様からのご意見を可能な限り新庁舎整備に活かしていきたいと考えています。

本日は具体的な新庁舎整備のアイデアを聞かせていただけるので楽しみにしています。未来志向のアイデアや意見をお願いしたいと思います。



小松委員長

Program 2 基本構想の概要説明等

「第1回市民ワークショップの様子」をご覧ください。

Program 3 ワーク

2班に分かれ、次のテーマでワークを行いました。

ワーク①
新庁舎ではどんなことができると良いですか？

○気軽に訪問 ○いろんな相談 ○自由な場所（勉強）

○憩いの場（お茶） ○防災拠点・避難所 ○市民活動の場

黄色い付箋に

サービスや活動内容などを記入します。

青色の付箋に

そのサービスや活動は誰が担うのかを記入していきます。

ワーク②
新庁舎の相應しいイメージ？ 市民の関わり方は？

○シンプル ○リノベーション ○審査の参加

○駅前 ○フリースペース ○市民開放

○OWSの継続 ○設計者と対話機会

○計画の公開（説明会） ○市民が管理

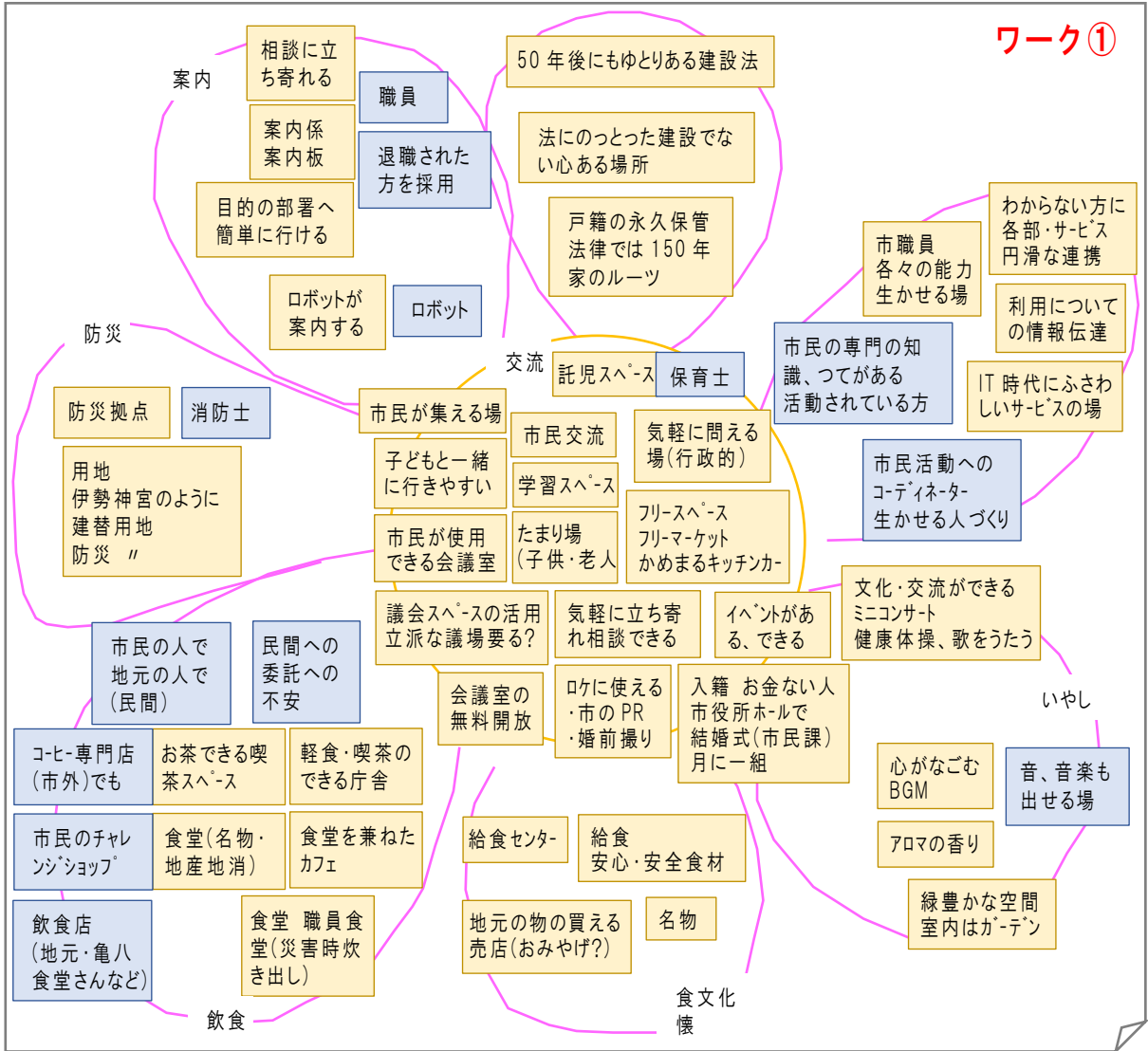
黄色い付箋に

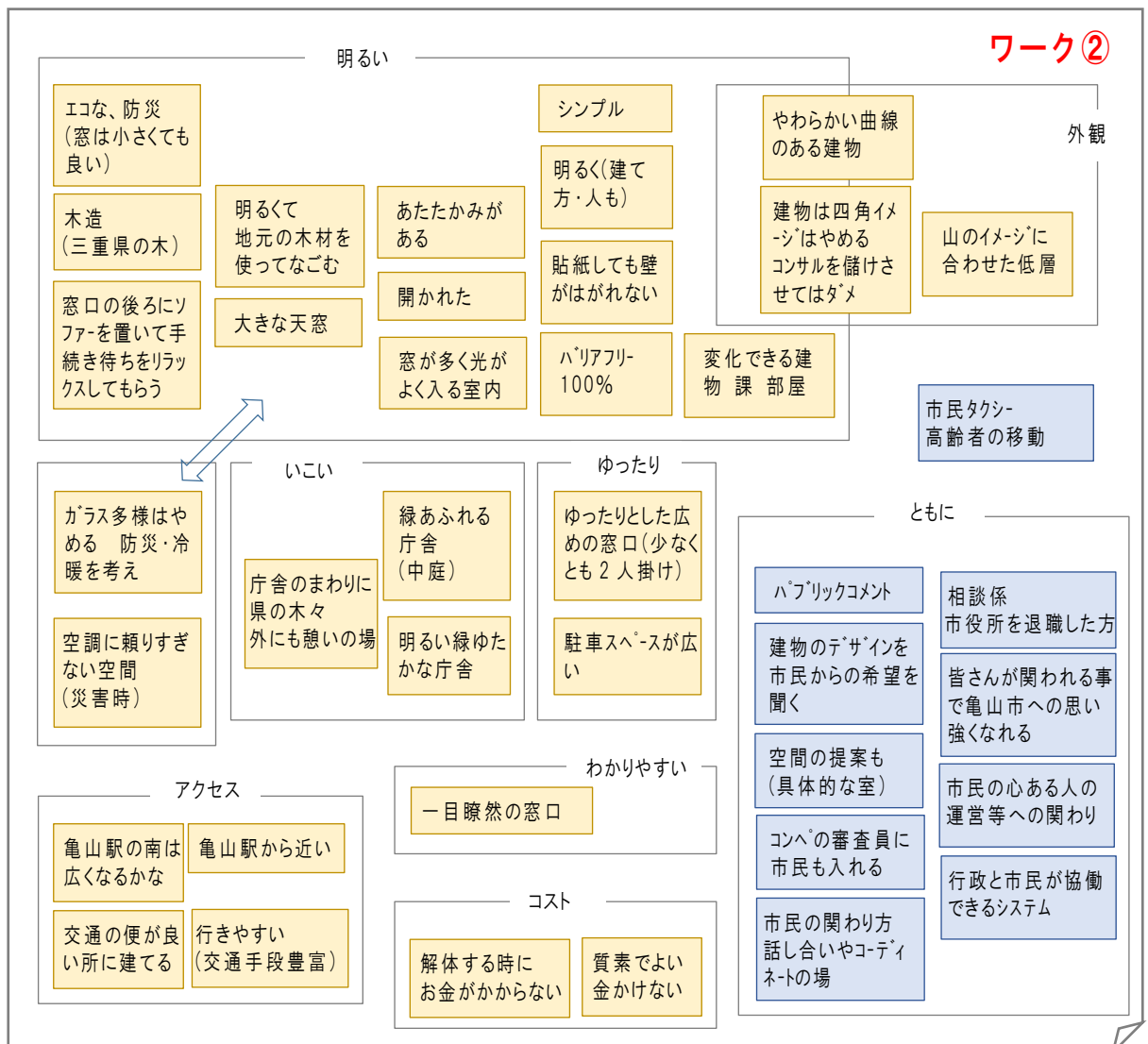
ワーク①から望ましい環境、デザインは何かを記入します。

青色の付箋に

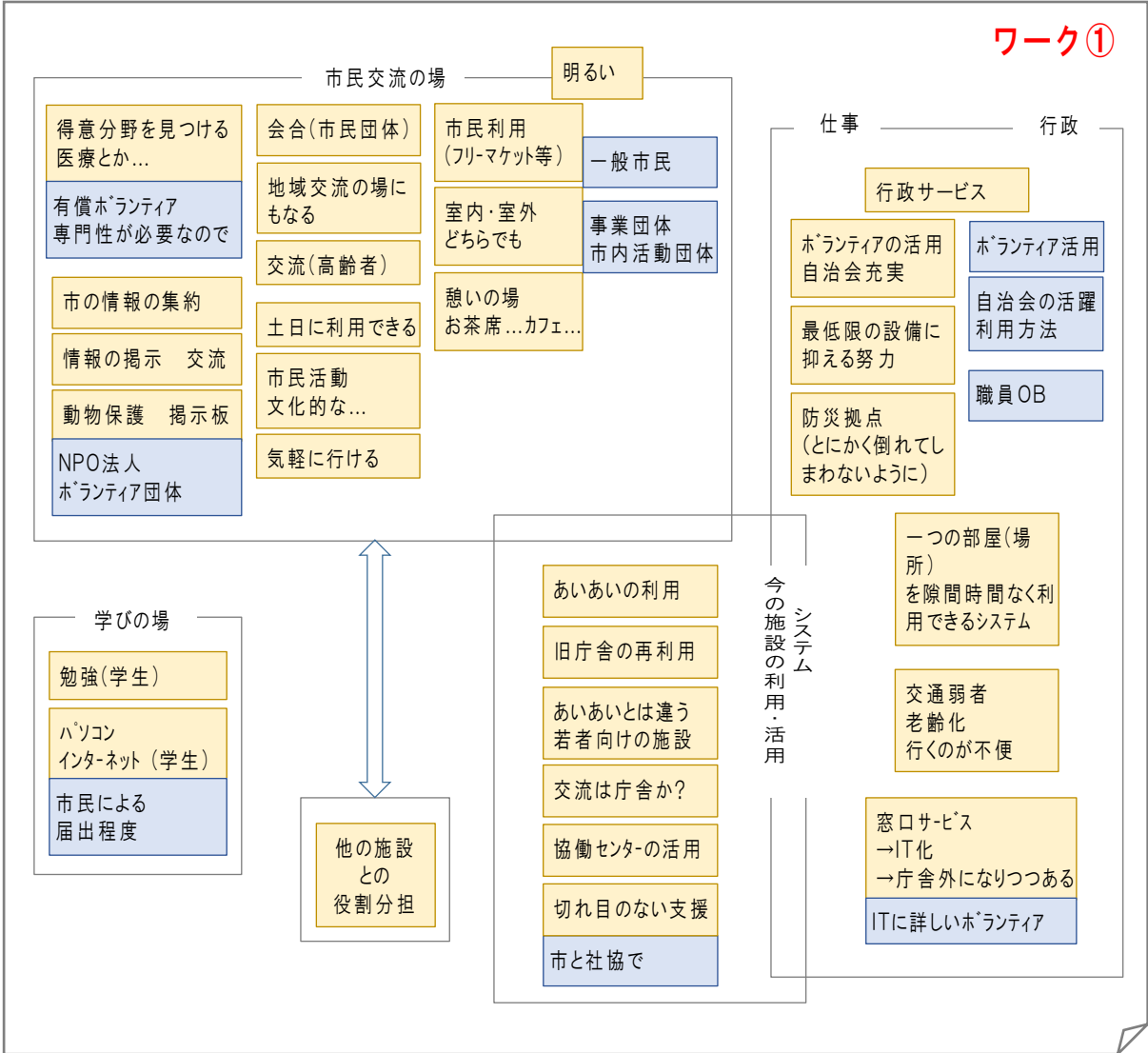
どのようなプロセスで、市民の皆様がどのように関わっていただければよいか(竣工後の運用も含め)を記入していきます。

A 班



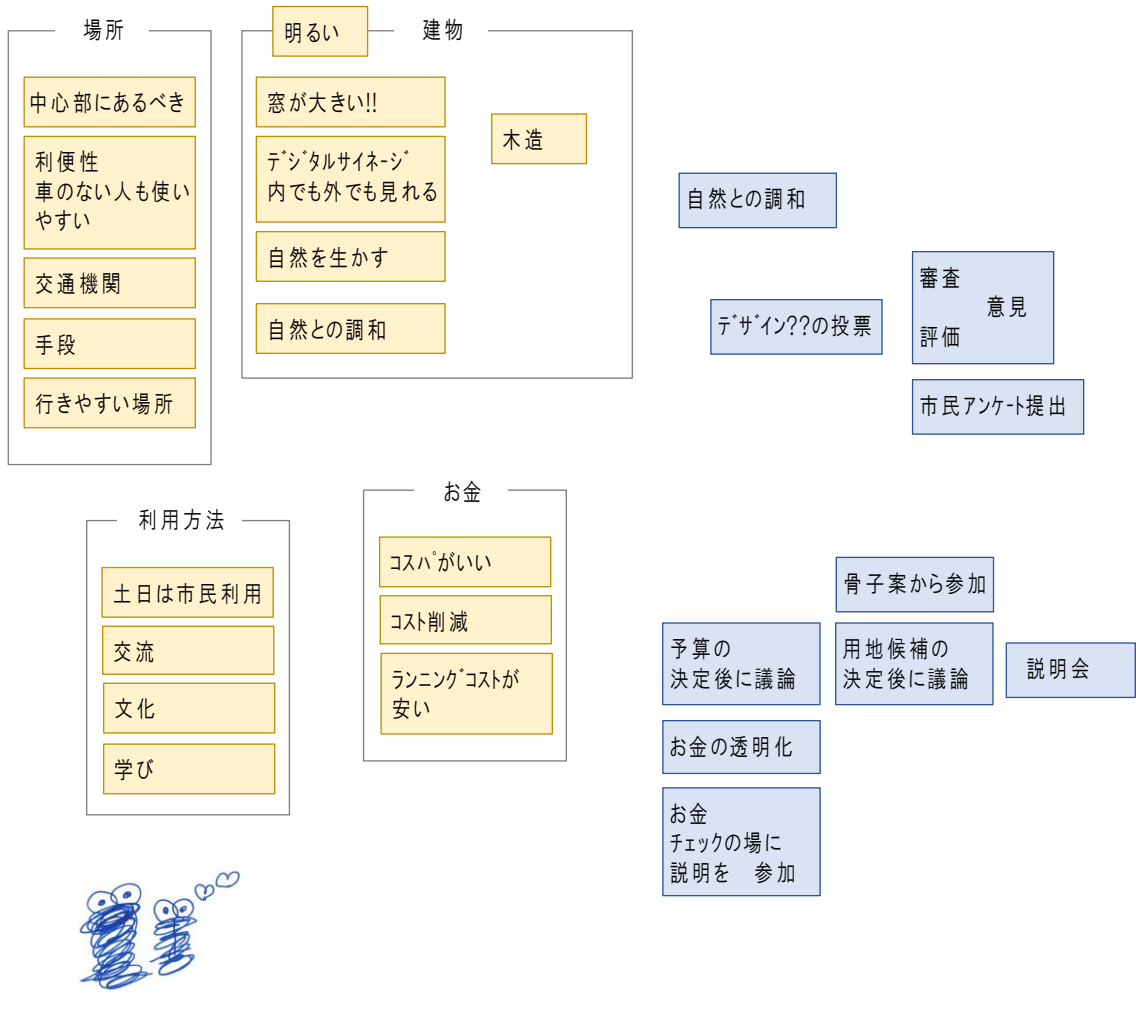


B 班





ワーク②



Program 4 小松委員長の講評

皆様おつかれさまでした。ワークの様子を拝見していたところ、青い付箋への記入が難しかったかもしれないと思いましたが、いかがでしたか。第1回のワークショップで皆様のワークを拝見して、皆さんならいろんな意見や提案を出していただけたらと思います、盛り込んでいただきました。これまでの類似のWSでしたら黄色の付箋の作業だけで終わりというケースが多かったと思いますが、やはり市民の皆様と一緒につくっていく新庁舎ですので、「じぶんごと」として考えていただき、その意見をお聞きできればと考えていました。



最近こんな話を聞きました。ある町で集会場に不具合が発生したので、行政に相談したところ、「材料の支給だけならすぐに対応できますが」と言われ、行政は材料支給のみして、地域の方が修繕作業をしたそうです。これについて、皆さんはどのように思われますか。行政がやってくれるまで待ちますか、それとも時間がかかるのであれば自分たちでできることはやってみようと思いませんか。今までは行政がやってくれたことも、今後は地域の力で解決していくという方法も出てくるのではないかと考えています。その方が価値ある時代になっていく可能性もあります。皆様には、要望するだけでなく、自分たちの力で実現していく担い手になってほしいと思います。

ワークショップの成果発表の中で、プロセスの透明化をという意見がありました。大変重要な意見ですし、当然の意見だと思います。他方で、予算の総枠など計画条件が分からないと議論できない、考えにくいという意見もありました。しかし、建物の予算や条件がある程度決まっている段階では、規模や必要諸室、仕様なども決まっていることが多く、その時点で意見を出してもなかなか反映されないことが多いです。そのため、これから大枠を決めていくというこの段階で皆様の意見を聞こうという趣旨で、今回のワークショップを実施しています。ワークショップでの意見は、検討委員会でもしっかりと議論させていただきたいと思えます。本日はありがとうございました。

今後のワークショップのご案内

参加者募集中

第3回市民ワークショップを下記のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

回	内容	開催日時	場所
第3回	市民交流が深まる新庁舎を考えよう!	令和元年11月24日(日) 午前10時～正午 (受付は午前9時30分～)	関支所3階 大会議室

- 参加要件: 亀山市内に在住・在勤・在学する人または市内で事業を行う人
- 申込方法: 電話、FAX、電子メールでお申込みください。

総合政策部 財務課 契約管財グループ
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577
TEL:0595-84-5025 FAX:0595-82-9955
E-Mail: keiyakukanzai@city.kameyama.mie.jp